

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る

重要情報シート（個別商品編）

1.商品等の内容（当社は、お客様に上場有価証券の売買の取次ぎを行っています）

| | |
|------------------------|--|
| 金融商品の名称・種類 | 東証グロース250ETF（2516） |
| 組成会社（運用会社） | シンプレクス・アセット・マネジメント |
| 金融商品の目的・機能 | 東証グロース250ETF（以下「ファンド」又は「当ファンド」といいます。）は、東証グロース市場250指数を対象指標とし、株価指数先物取引の買い建て、または対象指標に採用されている株式への投資、あるいは株価指数先物取引の買い建てと対象指標に採用される株式への投資のいずれも行うことにより、基準価額の変動率を対象指標の変動率に一致させることを目指します。 |
| 対象指標の概要 | （東証グロース市場250指数について） 東証グロース市場250指数は、主にマザーズ市場※に上場していた内国普通株式及びグロース市場に上場する内国普通株式を対象とする時価総額加重型で算出される株価指数です。株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社が算出・公表しています。算出方法は2003年9月12日の時価総額を1,000ポイントとして、その後の時価総額を指数化したものです。 基準日：2003年9月12日 基準値：1,000ポイント |
| 商品組成に携わる事業者が想定する購入層 | <u>元本割れリスクを許容できる投資家向けです。</u> 当ファンドは、株式や公社債等、短期金融資産（以下「有価証券等」）を投資対象とし、株価指数先物取引などのデリバティブ取引を利用するため、これらの価格変動の影響により基準価額は変動します。従いまして、投資元金を割り込むことがあり、元本が保証されているものではありません。投資信託は預貯金と異なります。 |
| パッケージ化の有無 | ありません。 |
| クーリング・オフの有無 | クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。 |
| 次のようなご質問があればお問い合わせください | <ul style="list-style-type: none"> あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。 この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。 この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べてどのようなメリット・デメリットがあるのか。 |

2.リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

| | |
|--------------------------------------|--|
| 損失が生じるリスクの内容 ※ 右記に限定されるものではありません。 | <ul style="list-style-type: none"> 価格変動リスク（株式の価格は企業業績その他の状況を反映し変動するため、価格の下落は基準価額等の下落要因となります。） 流動性リスク（有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合等により不利な価格での取引となる可能性があります。） 信用リスク（組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合等には、当該価格が下落することやその価値がなくなることがあります。） 為替変動リスク（組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。） |
| パフォーマンス 基準価額の騰落率 | 2025/3/31現在（設定日2018/1/31以降） 1ヶ月：-0.19%、3ヶ月：1.38%、6ヶ月：0.20%、1年間：-12.16%、3年間：-16.04%設定来：-48.70% |

| | |
|------------------------|--|
| 交付目論見書参照箇所（リスクと運用実績） | 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。 |
| 次のようなご質問があればお問い合わせください | <ul style="list-style-type: none"> ・上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。 ・相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。 |

3.費用（本商品の購入または保有には、費用が発生します）

| | |
|------------------------|---|
| 購入時に支払う費用（販売手数料など） | 国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。（上場有価証券等書面に記載しています。） |
| 継続的に支払う費用（信託報酬など） | 年0.55%（税抜年0.5%）（2025年3月31日現在） |
| 運用成果に応じた費用（成功報酬など） | ありません。 |
| 次のようなご質問があればお問い合わせください | <ul style="list-style-type: none"> ・私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。 ・費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。 |

4.換金の条件（本商品を換金する場合、一定の不利益を被ることがあります）

| | |
|---|---|
| この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還させる場合があります。 | |
| この商品を売却する場合には、国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。（上場有価証券等書面に記載しています。） | |
| ※本商品を換金する場合、一般的には、金融商品取引業者等を通じて、取引所市場で売却することになります。 | |
| 次のようなご質問があればお問い合わせください | ・私がこの商品を換金するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。 |

5.当社の利益とお客様の利益が反する可能性

| | |
|---|--|
| 当社は、この商品の組成会社等と資本関係等の特別の関係はありません。 | |
| 当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。 | |
| ※利益相反の内容とその対処方針については、「利益相反管理方針」をご参照ください。 http://www.banyo-sec.co.jp/pdf/riekisouhan.pdf | |
| 次のようなご質問があればお問い合わせください | ・あなたの会社が高得手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。 |

6.租税の概要（NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

| 時期 | 項目 | 税金 |
|------------------|------------------|--|
| 分配時 | 所得税、復興特別所得税及び地方税 | 配当所得として課税 収益分配金に対して20.315% |
| 売却時、換金（解約）時及び償還時 | 所得税、復興特別所得税及び地方税 | 譲渡所得として課税 売却時、換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315% |

この商品はNISA成長投資枠の対象商品です。

7.その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

当社の「上場有価証券等書面」



組成会社が作成した「目論見書」



上記「上場有価証券等書面」及び「目論見書」につきましては、ご希望があれば、書面でお渡します。